

理事に立候補します。

藤原 彰人（ふじわら あきひと）

会員番号 2630

1968年2月2日生まれ（36歳）

東京都練馬区在住

職業：会社員

今までの活動：所信

○1999年度～2000年、横国7万人作戦等、裏方としてソシオ活動

○2001年度選挙管理委員会副委員長として、第3期ソシオ理事選挙を実施

○2002年度ソシオ四期理事として和解交渉などにあたる。

○2003年度ソシオ五期理事。

- 「異常事態の收拾」という目的を掲げ、4期のソシオ理事選挙に立候補してもう2年がすぎました。ソシオ理事は異常事態の4期收拾、それから変則期の5期までと考えていましたが、カンパ金返還などの残務がまだあり、また、係争相手であったYFSCが、信頼出来得る経営者を得、大きく変わるこの時期に、ソシオの役割を見届けないまま、後任も立てず理事職を辞するのも責任をまっとうしていないと考え、非常に悩みましたが、もう1期、勤めるべきと考え、再度立候補しました。
- 5期の公約に掲げた「正常なソシオの活動の礎を築き、ソシオ創設時の精神を体現し、関わる人が前を向いて物事を考え、議論と実践を積み重ねること」を引き続き基本姿勢とし、今まで同様、自分の意見を大事に持ちながら、会としての方針は会の総意の中に尋ねながら、常に総意に語り、共に考えていきたいと思えます。

JFLから共に戦ってきた人は勿論、前を向いて戦い、共に戦う人々への感謝を忘れない横浜FCの選手・チームの方々は、ずっと応援していきます。

よろしく申し上げます。

◎ 実際の施策

クラブメンバーについて・・・グループメンバーに加入し、クラブに「良識と自意識を持った団体」として存在を示す方向で検討。協約書や規約などは交渉して、会の責任のある総意が、YFSCや選手に伝わる形にしたいと思います。

ソシオメンバーリスト・・・無償&自由登録のMLとして残し、公式BBS同様サポーターの民意啓発に役立てる。

会費・・・何も会の実体が無い段階で5000円は高いと思うので、最低額を決めて任意の額を徴収。グループメンバーに何%というような形の予算で、「何に使われるのか」がわかる「身の丈にあった運営」を実施したいと思います。

その他・・・横浜プロサッカー史は是非サポーターの目線から作り上げたい。